

祝 辞

神商同窓会理事長の大野でございます。同窓会を代表して祝辞を申し上げます。
兵庫県立神戸商業高等学校第138回生みなさんご卒業誠にありがとうございます。

さて、本日の卒業式は平成最後の卒業式となりますが、平成の30年間を振り返りますと近現在に於いて推唯一戦争の無い時代であったと言えます。

又、平成の時代は科学の進歩が著しい時代であったとも言えます。この2月22日にも、宇宙探査機「はやぶさ2」が小惑星「りゅうぐう」に無事着陸に成功しました。

「りゅうぐう」には太陽系や生命の起源に結びつく水などを含む岩石が存在すると期待されており、サンプルを持って地球に帰還される日を楽しみにしています。

ところで、「はやぶさ2」について新聞の見出しでは《初代の失敗リベンジ成功》とあります。日本はアメリカやロシアのような宇宙開発に於ける超大国のまねはせず一線を描くプロジェクトとして独自の構想で1980年代半ばから取り組みが始まり、途中の失敗を恐れず試行錯誤の繰り返しの末、この度リベンジーを果たしました。他国の真似をせず、日本らしい独自の取り組みが成功の要因の一つであったと言えます。

本日この学び舎を巣立つ卒業生254名の皆さんもきつと、勉強や部活や学校行事を通して挫折感と達成感を味わった3年間であったと推測いたします。

人は失敗と成功を繰り返しながら進歩し成長していきます。失敗の中にこそ成功に繋がる種が落ちています。この度のリベンジを果たした『はやぶさ2』に学び、一度や二度の失敗を恐れず、これから開けゆく皆さんの第2のステージを自らが親から授かった命の尊さをかみ締めながら両足をしっかり大地につけて一步一步力強く前進して下さい。

『身体は食べたもので作られる。心は聞いた言葉で作られる。そして、未来は語った言葉で作られる』といわれます。これからの未来について大きな夢と志しを語りあって頂きたい。

ところで、明治11年、県商の前身である神戸商業講習所は神戸の貿易と商業の発展を至上の命題として慶應義塾の福沢諭吉先生と当時の森岡兵庫県令によって開学され、以来、我が国最古の商業学校として、現在の神戸大学の源流・旧神戸高商初代校長の水島鏡也先輩や初代神戸市長の小寺謙吉先輩、三井物産社長の一井保造先輩をはじめ、今日まで多くの優れた人材を世の中に輩出し我が国の経済・政治・文化の発展に大きな功績を果たして参りました。近年活躍されている先輩については毎年発行の会報誌にて紹介させていただいております。

卒業生の皆さんには、このような歴史と伝統ある県商を卒業することに誇りと自信を持ち、県商でお世話になった先生を人生の師として、又苦しみも喜びも分かち合った友達を人生の友としてこの二つの大切な宝物を胸に未来は無限の可能性に満ちていることを信じて大きく羽ばたいて下さい。

最後になりましたが、今日まで手塩にかけてここまでお育て頂いた保護者の皆様には心よりお祝いを申し上げます。又、校長先生をはじめ諸先生方のご指導ご功勞に対して改めて敬意を表したいと存じます。

そして、県商のますますの発展と卒業生の皆様の輝ける将来並びにご活躍を祈念申し上げます。簡単粗辞ではございますが祝辞とさせていただきます。

2019年2月28日

一般財団法人神商同窓会
理事長 大野美代子